

- ・伝道は主がなされることである。伝道とは、神様が飢え乾いた人に出会わせて下さることである。
- ・災いを止めることが伝道キャンプである。イエスキリストを信じた人は、災いを受けることがない。福音を伝える人がいなければ、人々が災いにあってしまう
- ・私達の人生の主な目的は伝道運動の為である。ガリラヤの海は、水が流れてくるから生きるが死海のように水が流れて来なければ死んだ海になる。私達は福音を流すことができるように。

1.福音に飢え渴いた者	2.聖霊の導きを受ける人	3.答え
<p>▲福音に飢え乾いた人と出会い生かすことができるように。</p> <p>1)使徒 8:27(そこで、彼は立って出かけた。すると、そこに、エチオピア人の女王カンダケの高官で、女王の財産全部を管理していた宦官のエチオピア人がいた。彼は礼拝のためエルサレムに上り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エチオピアの宦官が、エルサレムでの礼拝を終えて帰るところであった。 ・礼拝に来たにも関わらず、救いを受けていない為、虚しさを持っていた。 ・エチオピアの宦官は、女王の次に権力を持っていた。 ・エチオピアの宦官が、飢え乾いた心で聖書を読んでいた。 <p>→しかし、聖書を読んでも内容を理解することが出来なかった。</p> <p>2)使徒 8:31(その人は、「導く人がなければ、どうしてわかりましょう」と言った。そして、馬車に乗っていっしょにすわるように、ピリポに頼んだ。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エチオピア人の宦官は、福音を分からなかった。 ・私達が分かっている福音は、本当に大事な内容である。 ・高知の教会は、牧師がいない教会が多くあり、また高齢者の牧師が多い。 <p>→真の福音を理解して伝達をしなければいけない。</p> <p>3)使徒 8:32-33 (彼が読んでいた聖書の箇所には、こう書いてあった。「ほふり場に連れて行かれる羊のように、また、黙々として毛を刈る者の前に立つ小羊のように、彼は口を開かなかつた。彼は、卑しめられ、そのさばきも取り上げられた。彼の時代のことを、だれが話すことができようか。彼のいのちは地上から取り去られたのである。)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福音の内容は、罪を赦したこと、サタンの頭を打ち砕いた事が重要である ・エチオピアの宦官はイザヤ書を読んでいて福音を分からずにいたのでイザヤ書の本当に言いたい事が分からなかった(イザヤ書は福音を言いたい) ・エチオピアの宦官は、福音に対して飢え乾いた人であった。 ・ピリポが福音の話をしたら受け入れて、洗礼まで受けるようになった。 <p>4)使徒 8:39(水から上がってきたとき、主の霊がピリポを連れ去られたので、宦官はそれから後彼を見なかったが、喜びながら帰って行った。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宦官は、福音を受け入れてからあまりにも喜んだ。 ・飢え乾いた人が現場にいるが、現場で伝道しないので災いがくる。 ・エチオピアに聖書を信じる人が多いのは歴史的背景がある為である。 <p>→かつてのエチオピアの女王であったシェバの女王は、ソロモン王の知恵に感動して多くのエチオピア人がユダヤ教になる。</p> <p>→歴史的な背景の中でエチオピアの宦官はユダヤ教であり聖書を読んでいた</p> <p>→伝道の現場には、聖書に関心を持つ、飢え乾いた人が多くいる。</p> <p>(ミッションスクールを卒業した人、かつて日曜学校に通った人など)</p>	<p>▲聖霊の導きと働きが必要である。</p> <p>1)信仰と聖霊—使徒 6:5 (この提案は全員の承認するところとなり、彼らは、信仰と聖霊とに満ちた人ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、アンテオケの改宗者ニコラオを選び)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信仰と聖霊に満ちた人がステパノ、ピリポであった。 ・信仰と聖霊は別々ではなく一つである。 ・キリストが人となり十字架にかかり根本問題を解決 <p>→私達の全ての問題を解決して下さった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信仰が強くなるほどに聖霊充滿に満たされる。 ・聖霊に満たされると自分の考えや計算がなくなる。 <p>→聖霊の考えで行動できるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私達は、神様の考えで行動できるように。 <p>2)使徒 8:26 (ところが、主の使いがピリポに向かってこう言った。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」(このガザは今、荒れ果てている。))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天使が動員をして導いて下さる。 ・私達は、聖霊に満たされることが出来るように。 <p>○777の祈りを味わうように。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私達の過去、現在、未来の問題は終わった。 <p>○使徒 8:29 (御霊がピリポに「近寄って、あの馬車といっしょに行きなさい」と言われた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖霊に導かれていくように。 <p>3)使徒 8:39 (水から上がって来たとき、主の霊がピリポを連れ去られたので、宦官はそれから後彼を見なかったが、喜びながら帰って行った。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エチオピアの宦官が救われ喜びながら帰途についた 	<p>▲素晴らしい答えが来る。</p> <p>1)ピリポと宦官</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域と国家を生かす絶対弟子 ○一人の弟子と一つの地域 ○一人の弟子と一つの国家 <ul style="list-style-type: none"> ・ピリポとエチオピアの宦官の出会いがあった。 ・エチオピアの宦官は女王などにも福音を伝達した。 ・宦官が救われたことで現在までもエチオピア人の63%がクリスチャンである。 ・エチオピアの宦官一人が救われたことで国が変わった <p>2)サマリヤ→ガザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピリポは聖霊の導きでサマリヤに行って、宦官がいるガザまで伝道した(使 8:40)。 ・ガザまで行く中でも伝道した ・ピリポは「ルダ」や「ヨッパ」にも伝道して弟子をたてていった(使 9:32)。 →ピリポが伝道した所でペテロは更に伝道して、弟子を確立した(使 9章) <p>○初代教会から AD30年~1000年までは悪魔を打ち砕いたキリストがメインのテーマ</p> <p>→AD1000年頃に全ヨーロッパがキリスト教国家になる</p> <p>→AD1517年にルターが福音を回復した。</p> <p>→AD1560年にジョンノックスにより福音を回復した。</p> <p>→2017年から福音宣教教会が福音を語り続ける(創 3:15)</p>

現場地教会(2025年3月2日～2025年3月8日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1)イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2)イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「福音に飢え渴いた者との出会い」(使徒 8:26-40)

【讚美】 393 われらの戦い血によらず

【祈り】

- ①教会の祈りの課題
※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。
②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

祈り文

主の恵みに感謝します。私を神様の子供、祝福の源として、伝道者として召して下さって感謝します。今、この時間、私の考え、心、潜在意識、無意識、たましいの深いところにまで聖霊で満たして下さい。生きておられる神様に感謝します。
創世記3：15 “女の子孫(キリスト)が蛇(サタン)の頭を打ち砕かれた原色福音を信じ、サタン、罪、死、地獄から解放された事を信じます。
この原色福音を味わい、福音の価値を知り、飢え渴いた魂の出会いの祝福を私に与えてください。
私にもピリボ執事が霊的に飢え渴いていたエチオピア女王高官カンダケのような出会いを与えてください。その為に私を正確に聖霊で導いて下さり、聖霊で満たして下さい。又三つの今日を実践し、777の祈りを通して3集中、24、25、永遠の答えを与えて下さり、三つの庭が回復できますように。
地域と国家生かす弟子との出会いの祝福を私に与えてください。私をピリボのような福音を伝える伝道者として用いて下さい
イエスキリストの御名によりサタンの権威が打ち砕かれた事を信じます。今、この時間、この場所に主が働いて下さり、御言葉により私を完全に治め、福音に根をおろし、福音の御言葉を刻印し、福音が私の生活の体質となるようにして下さい。過去の傷、古い体質はイエス・キリストの御名によって癒され、礼拝をささげ、御言葉を聞くごとに、正確な福音を悟り、理解し、生活に適應できる霊的な力をお与えください。
罪と苦痛と呪いを十字架で完全に解決して下さった、真の大祭司長であられるイエスキリストが、自分中心の全ての考えをおろして、御言葉に従順する生活となりますように。神様に会おう道を開いて下さった真の預言者であられるイエスキリストが、今、私の考えと心の深くに恵みをくださり、福音の御言葉、祈り、伝道中心に生きて行けるようにして下さい。考えと心の中に、福音を悟る恵みをくださり、御国イザヤ主任牧師に、聖霊充滿と5つの力を常に与えられ、100ヶ所の地教会運動、楠 RUTC に1,000名が集う教会として下さい。今月あるリーダー修練会、レムナント大会を大きく祝福、レムナント達が立ち上がる機会にして下さい。
神様がくださった契約を握り、出会う全ての人々、出来事、働きの中で福音の証人として下さい。主がくださった家庭に平安と喜びをください。福音で十分、満足、幸せ、な働き人として下さい。全ての問題の解決者であり、今も私の内におられ、私を治め、私を導かれ、私の人生の主人であられ、生きておられるイエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

(お知らせ)

3月26日～28日 日本レムナント大会

3月24日～25日 リーダー修練会

福音宣教教会

主管牧師：御国イザヤ

名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003

主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00